

各 位

上場会社名	株式会社 ジーダット
代表者	代表取締役社長 石橋 真一
(コード番号)	3841)
問合せ先責任者	取締役経営企画部長 増山 雅美
(TEL)	03-5847-0312)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,260	285	310	200	10,416.66
今回発表予想(B)	2,080	240	270	55	2,864.58
増減額(B-A)	△180	△45	△40	△145	――
増減率(%)	△8.0	△15.8	△12.9	△72.5	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	2,136	221	294	197	10,141.27

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,230	265	295	190	9,895.83
今回発表予想(B)	2,070	215	245	40	2,083.33
増減額(B-A)	△160	△50	△50	△150	――
増減率(%)	△7.2	△18.9	△16.9	△78.9	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	2,117	190	246	161	8,278.38

修正の理由

(売上高、営業利益及び経常利益)

米国における金融市場の混乱の影響が拡大するなかで、当社企業グループは、主力製品「α-SX」の自動設計製品を中心に、顧客毎の設計生産性の向上に直結するような機能強化及びサービスサポート体制の強化を図ることで競争激化に対応し、一方で利益率の高い自社開発製品の販売に注力し、第2四半期連結累計期間までの業績は、当初予想値を上回る実績をあげることができました。しかしながら第3四半期以降、世界的な景気後退局面は未曾有の速度で悪化を辿り、我国主要産業の大手企業においても非常に厳しい経営環境に晒されております。当社企業グループの主要な顧客である半導体関連及び液晶関連の製造業界においても、生産量の大幅な落ち込みや価格下落による利益率の悪化等の影響から、設備投資の凍結、予算の見直し・先送りの傾向が一層強くなってきております。

この様な市場環境の著しい悪化は、当社企業グループの業績にも影響し、当初計画の売上を達成することが困難となることが予想され、売上高、営業利益、経常利益とも当初予想数値を下方修正するものであります。平成21年3月期の連結売上高は当初予想より8.0%減の2,080百万円となる見通しであります。営業利益は同15.8%減の240百万円、経常利益は同12.9%減の270百万円となる見通しであります。

(当期純利益)

上記市場環境の悪化に伴うもののほか、本日(1月28日)同時に公表しております「平成21年3月期第3四半期の有価証券評価損に関するお知らせ」に記載のとおり、当社が保有する「その他有価証券」に区分される有価証券の減損処理による投資有価証券評価損121百万円を特別損失として計上するために、当期純利益は当初予想より72.5%減の55百万円となる見通しであります。

個別業績予想についても同様の理由により、業績予想の修正をいたします。

※将来の事象に関わる記述に関する注意

業績予想につきましては、発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後起こりうる様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上